

令和5年度 第2回学校運営協議会記録

1. 日 時 令和5年9月9日(木) 10時30分～11時30分
2. 場 所 本校校長室
3. 出席者 学校協議会委員(出席6名)
・寺脇 久人 ・戸堂 耕造 ・細越 浩嗣
・中谷 正彦 ・山口 裕通 ・谷岡 陽子
4. 議 題 ①審議事項 なし
②報告・協議
(1) 生徒状況について(生徒指導部)
(2) PTA活動について(保健総務部)
(3) 国際交流について(国際交流委員会)
(4) 地域連携活動について(地域連携推進委員会)
(5) 前期授業アンケート結果について(教頭)
(6) その他
5. 議決事項 なし
6. 協議概要 以下、協議において出席委員から出された主な意見等です。

<外部人材の活用拡大について>

○教員の多忙化が問題となっているので、部活動やそれ以外でも外部人材の活用について積極的に取り組んで必要がある。

→今年度から部活動指導員や学校支援社会人等指導者の予算枠が拡大され、本校でも運動部活動における外部指導者の活用人数が2名から5名に拡大している。運動部の数からするとまだまだ十分とは言えないが、少しずつ増やしていければと考えている。

<生徒の不登校等の状況について>

○不登校となっている生徒の割合などに変化が見られるか。

→今年度について特段不登校の生徒の数が増えているということはないが、入学式の翌日から不登校となった生徒など気になるケースが存在する。また、文化祭準備などの様子を見ると、生徒のコミュニケーション能力が従前と比べて低下しているのではないかという懸念を感じている。中学校時代にコロナ禍により様々な活動に制約を受けたことが、生徒のコミュニケーション能力に影響しているのではないかと推測している。学校としてコミュニケーション能力の向上に向けて、集団活動の充実などさまざまな方策を考えていきたい。